

組合の楽しい便り 投稿歓迎します。

No435

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

令和3年11.12月合併号
編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

久しぶりの研修会に多くの組合員が参加
「アフターコロナへの取り組みと
SDGsへの対応について」

2021/10/28 18:07



およそ一年半ぶりの開催となった組合研修会は、十月二十八日(木)午後六時より、台東区北上野の正札シール会館会議室に於いて開催されました。

今回は組合参与の清宮企業の清宮和夫氏を講師に「アフターコロナへの取り組み」と、リンテックのサステナビリティ推進室調査役の西川建彦氏が参加しました。

清宮和夫氏は、左記に日

本印刷産業連合会が発刊した冊子「Change Together」に基づいてまとめた「アフターコロナへのラベル会社の取組み」と題して①「Change Together」から学ぶ②シールラベル業界の現状分析、取組みテーマ③ラベル会社の方向性④サプライチェーンマネージメント等について話をしました。

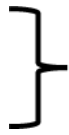
①についてはシールラベル業界の原材料の値上げや、さまざまなラベルの分かりやすい説明、コロナ過ではシールは10%の売り上げ減となっているが、お客のためにラベルの紹介、設備投資やメンテナンスへの確信を持つこと、自社と同等会社の考えを知ること、仲間や他社と協業の仕組みを作ること、掲載されている日本ラベルの事例についても説明しました。

また、メーカーとの直接取引の場合は、情報入手が正確にできるが、間接受注の多いシールラベル会社に於いては、些細なお客さんの声にしっかりと答えて取引チャンスを生品良いようにすることが大事であると指摘しました。

さらに現在のラベル市場は六三二一億円でその内訳は食品が千九百億円、物流が千二百億円、飲料・酒が八九〇億円、電気・精密が六三〇億円、その他が七五〇億円であ

◆やるべきこと

- ① どこ
- ② だれ
- ③ なに



具体的に

キーワード…これからのラベル業界で想定すること

デジタル化 DX AI IOT リモート web 活用 SDGS カーボンオフセット
 カーボンニュートラル 2030年 2050年目標 脱炭素 法規則遵守 環境
 対応製品 抗菌対応 脱プラスチック PET再生紙 EV部品対応ラベ
 ル 高機能粘着材料 FSC認定 サプライチェーン 生産加工トレ
 サビリティ ラベル加工の生産性向上 コストパフォーマンス 粗利と収
 益 手形廃止 BCP策定 顧客へのレスポンス 工程管理、品質
 管理 マネジメント調査 GPグリーンプリンティング認定

り、仕事がないではなく、仕事のある所、人に向き合っていないだけであると結びました。

この後休憩の後、リンテックの西川建彦氏が「SDGs」について資料を示して説明しました。

西川氏は、SDGsはいまの世界に蔓延する様々な社会的課題を国連が整理し、二〇三〇年を期限にその解決を目標として「持続可能な十七の開発目標」として定めたものであると説明し、貧困、飢餓、健康、教育格差、ジェンダー、エネルギー、水不足、雇用働き甲斐、インフラ産業、不平等、まちづくり、生産消費、気候変動、海、陸、平和公正、パートナーシップの十七の目標を示しました。

SDGsの取り組みについては外部の情報で動く受動的取り組みと、外部情報を取り入れ自ら考え動く能動的な取り組みがあると説明しました。

そして花王が二〇二一年末までに、「プラスチック製アイキャッチシールの全

廃」を宣言したが、「アイキャッチシールはプラスチックごみや廃棄時のCO2排出量を増大させる社会的課題につながり、アイキャッチシールの全廃はリデュースイノベーションのひとつであると説明しました。

そしてその後という考え方を示して花王はライオンとリサイクル実証実験で協働することを公表し、「使ったら、捨てる。この当たり前を変えたい」と、「リサイクルエーション活動」を進めているとしました。

さらに最近の衝撃として日清食品のカップヌードルのフタ止めシールの廃止を取り上げ、これによって年間三十三トンのプラスチック原料を削減することができたと説明しました。

そして「今のままでは持続不能」を受け止め、「我々の世界を変革する」を決意し、実践した結果を示していくことが大事で、企業として取り組まなければリスク、取組めば機会と認識することであると結びました。

平山良一氏の告別式

雨の中多くの人が

九月六日に逝去した組合前副理事長の平山良一氏の告別式が、十月二十二日（金）午後一時四十五分から台東区上野の『寛永寺・輪王殿』に於いて、平山家、日本ラベルの合同葬として執り行われました。

当日はあいにくの雨と寒さでしたが、平山さんの交際範囲の広さを物語り、予想をはるかに上回る方々が焼香に訪れ、参加者は冥福を祈りました。



親事業者との取引で困っていることはありませんか？



いつまで保管...

量産終了後も金型を無償で保管させられ、破棄してもよいかを聞いても返答がなく、保管費用を負担してくれない。



3年後までにコスト5%減にしたいから単価引き下げね！

親事業者が親事業者の取引先と協議して定めた「〇年後までに製品コスト〇%減」という目標を達成するために、一方的に通常の対価を大幅に下回る下請代金の額を定められた。



発注先から納期延期と言われたが、いつ受領してもらえるかわからず、費用も負担してくれない。



予算不足等を理由にあらかじめ定められた下請代金から一定額を減額された。

こうした親事業者の行為は

下請代金支払遅延等防止法

で禁止されています。



これを使用して製造して！先に原材料費を払ってね！

親事業者が有償支給する原材料を使用して物品を製造する際、下請代金の支払日より前に原材料費の支払いを求められた。



親事業者の指定する製品(含自社製品)や原材料等を強制的に購入させられた。



NO!!

親事業者から手形で下請代金の支払いを受けたが、一般の金融機関で割引を受けることができなかった。



見積り 1,000個 @00円

発注書 50個 @00円

1,000個を発注するとの依頼で、見積単価を提出したが、その見積単価で50個しか発注がなかった。

トラブルが起きたらできるだけ早く行政機関等に相談することが大切です。

新型コロナウイルス感染 秋葉原庁舎五階
 によって、親事業者との間 千代田区神田佐久間町一の
 でトラブルが増えています。 相談するよう注意を促して
 このため国や東京都では にもご連絡ください。 九〇三一二二五一一九
 います。 三九〇
 業者の下請事業者に対する 下請センター東京 (下 九〇三一二二五一一九
 「下請代金支払遅延等防止 取引をこうせいなものとし、請取引紛争解決センター) 関もありません。
 法」を遵守するように呼び 東京都中小企業振興公社本

ここ最近地球温暖化の

ニュースで、必ずと言ってよいほど出てくるのが「カーボンニュートラル」や「温室効果ガス」という言葉です。カーボンニュートラルには「炭素中立」という意味があります。カーボンニュートラルをわかりやすくまとめると「温室効果ガス排出量をできるだけ削減し、削減できなかった温室効果ガスを吸収または除去することです。実質ゼロにすることを

もするため、できるだけ削減努力をした上で、どうしても排出される温室効果ガスを何らかの手段によって実質ゼロにするというのが、カーボンニュートラルの基本的な考え方です。

味があります。カーボンニュートラルをわかりやすくまとめると「温室効果ガス排出量をできるだけ削減し、削減できなかった温室効果ガスを吸収または除去することです。実質ゼロにすることを

資源エネルギー庁によると、二〇二一年一月二〇日時点で、二〇五〇年度までのカーボンニュートラル実現を表明している国は、二四カ国と一地域あります。二〇六〇年度までには、世界の約三分の二がカーボンニュートラル実現を目指しています。このように世界でカーボンニュートラルに向けた動きが活発化されている背景には、気候変動による深刻な影響があります。それ以外に経済的なメリットもあります。

財務情報だけでなく環境・社会・ガバナンスの観点から投資を決めるESG投資が拡大したことで、カーボンニュートラルを目指すことは生き残りをかける重要課題だと考えられています。

日本の火力発電所では、すでに省エネルギーを実現できる様々な技術が導入されています。樹木は、光合成を行う時に大気中のCO₂を吸収します。同時に酸素を大気中に発生させ、炭素を蓄え成長する性質があります。植林を進めることで、CO₂吸収量を増やすことができます。

削減できない温室効果ガスを吸収または除去することです。実質ゼロにすることを

削減する手段には、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの徹底などがあります。温室効果ガスを吸収または除去する手段には、植林の推進や大気中のCO₂を回収する技術の活用などが

再生可能エネルギーは、化石燃料と比べると、発電時にCO₂を排出せず、ライフサイクルを通して排出されるCO₂の量も少ないです。オフィスや工場で使用する電力を再エネ由来の電力に切り替えることで、排出されるCO₂を大幅に削減することができます。

CCSやCCUSなど新しい技術に注目が集まっています。CCS (Carbon dioxide Capture and Storage) は、工場などから排出されたCO₂を大気中から回収し、地中深くに貯留し圧入する技術です。

温室効果ガスとは、大気圏にあつて、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体のことである。水蒸気や二酸化炭素などが温室効果ガスに該当する。この他、メタン、一酸化二窒素、フロンなども温室効果ガスに該当する。近年、大気中の濃度を増しているものもあり地球温暖化の主な原因とされています。

温室効果ガスとは、大気圏にあつて、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体のことである。水蒸気や二酸化炭素などが温室効果ガスに該当する。この他、メタン、一酸化二窒素、フロンなども温室効果ガスに該当する。近年、大気中の濃度を増しているものもあり地球温暖化の主な原因とされています。

温室効果ガスとは、大気圏にあつて、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体のことである。水蒸気や二酸化炭素などが温室効果ガスに該当する。この他、メタン、一酸化二窒素、フロンなども温室効果ガスに該当する。近年、大気中の濃度を増しているものもあり地球温暖化の主な原因とされています。

温室効果ガスとは、大気圏にあつて、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体のことである。水蒸気や二酸化炭素などが温室効果ガスに該当する。この他、メタン、一酸化二窒素、フロンなども温室効果ガスに該当する。近年、大気中の濃度を増しているものもあり地球温暖化の主な原因とされています。

削減することが難しい分野

削減することが難しい分野

削減することが難しい分野

削減することが難しい分野

■乾癬とは

乾癬は慢性の炎症性皮膚疾患です。日本人の発症率は0.02〜0.1%で、患者数は一〇〜二〇万人と推定されています。欧米の約2%と比べると割合は低いものの、日本人の患者数は徐々に増加しています。男女比は二…一で男性に多

No181 健康がいちばん!

年々増えている「乾癬」とは 慢性の炎症性皮膚疾患

つ」と呼ばれる銀白色のかさぶたができます。紅斑は盛り上がっており、鱗屑(りんせつ)はポロポロとはがれ落ちていきます。

摩擦などの刺激が加わることで、異常がなかった皮膚にも症状が広がることがあります。爪の変形や、関節の痛み・変形が起こることもあります。また、約半数の患者さんがかゆみを感じます。

状態はよくなったり悪くなったりを繰り返しますが、一般的に夏に症状が軽くなり、乾燥しやすい冬に症状が悪化する傾向があります。乾癬は全身の皮膚に生じる可能性があります。とくに頭やひざ、ひじ、腰、お尻、爪などによくみられます。関節では、関節痛などの症状が現れることもあります。

炎」のいくつかの種類に分けられます。同じ種類のまま経過することもあれば、別の種類に変わったり、複数の種類の乾癬が重なったりすることもあります。

■乾癬の原因

乾癬の根本的な原因はまだはっきりとは解明されていませんが、もともと乾癬になりやすい体質にさまざまな要因が重なることで免疫に異常が生じ、乾癬を発症すると考えられています。乾癬の引き金となる要因には、次のようなものがあげられます。

遺伝的要因

乾癬の発症は遺伝的なもの、つまりもともとの体質がベースとなると考えられています。乾癬になりやすい遺伝子がいくつも見つかっています。日本人の乾癬の患者さんがいる家族に発症する頻度は、 $\frac{1}{5}$ とされています。

外的な要因

外部刺激や感染症、食生活、飲酒、喫煙などの外的な要因も乾癬の引き金となることがあります。

内的な要因

乾癬では、肥満や高血圧、糖尿病、脂質異常症などを伴う「メタボリックシンドローム」を合併することが多く、メタボリックシンドロームも乾癬の発症に関わると考えられています。

■乾癬の対処法

乾癬の対処法としては、「病院での治療」と「セルフケア」の2つのアプローチがあげられます。

病院での治療
乾癬の悪化を防ぐうえでは、皮膚科専門医のいる病院を早めに受診して適切な治療を受けることがとても大切です。

乾癬の治療法には、大きく分けて「外用療法(塗り薬)」「光線療法(紫外線療法)」「内服療法(飲み薬)」「注射療法」の4つがあります。

よくなくなったり悪くなったりを繰り返す乾癬では、病気の状態や患者さんの状況に合わせて治療法を選択していきます。

く、二〇歳代と四〇歳代に多く発症します。

■主な症状

乾癬になると、「紅斑(こうはん)」と呼ばれる周囲との境目がはっきりした皮膚の赤みと、「鱗屑(りんせつ)

「尋常性(じんじょうせい)乾癬」「滴状(てきじょう)乾癬」「膿疱性(のうぼうせい)乾癬」「乾癬性紅皮症(けんせんせいこうひしん)

「尋常性(じんじょうせい)乾癬」「滴状(てきじょう)乾癬」「膿疱性(のうぼうせい)乾癬」「乾癬性紅皮症(けんせんせいこうひしん)

リントックは、ラベル素材の粘着剤層として一般社団法人日本有機資源協会が運営する「バイオマスマーク」の認定を取得したラベル素材を全国展開しています。このたび、容器などからきれいに剥がせる再剥離タイプ

バイオマス粘着剤使用ラベル素材 きれいに剥がせる再剥離タイプ



て強粘着タイプのバイオマス粘着剤を使用したラベル素材や、バイオマス表面基材を採用したラミネートフィルムなどのラインアップを拡充してきました。昨今、容器のリユース・リサイクルを目的として、きれいに剥がせるラベルの需要が高まっていることから、バイオマスラベル素材のラインアップに再剥離タイプの新しいアイテムを追加し、販売を開始しました。

今回追加するのは、きれいに剥がせる再剥離タイプの粘着剤を使用したラベル素材です。これまでのバイオマスラベル素材と同様、一般社団法人日本有機資源協会が運営する「バイオマスマーク」の認定をラベル素材の粘着剤層として取得（認定番号：200128）。

再剥離性を損なうことなくバイオマス度（注）10%を実現し、二酸化炭素排出量の削減に貢献します。日用品や食品、家電製品、文具をは

じめとする各種商品の表示ラベルといった幅広い用途に使用できます。植物由来の原料を活用したバイオマス粘着剤を使用。容器などからきれいに剥がせる再剥離タイプのラベル素材です。仕様は次の通り。

- 品番・BA6141-80
- 表面基材・ポリプロピレン系合成紙
- 粘着剤・再剥離タイプ
- バイオマス度 10%
- 剥離紙・グラシン紙

「バイオマスマーク」とは一般社団法人日本有機資源協会が認定するマーク。再生可能な生物由来の有機資源であるバイオマス（bio：生物資源、mass：量）を活用し、品質および基準、規格などを満たして生産している商品の目印となります。詳細はホームページで。

lntec.co.jp